



本社前に設置された音楽祭のステージでは、様々なミュージシャンが会場を盛り上げる



本社内の博物館で公開展示されている素晴らしい楽器の数々

楽器修理販売、音楽教室

株式会社 エルム楽器

手稲区西宮の沢

文化・芸術 ■機会創出 ■物品提供

音楽を通じて 地域や人とつながり ともに成長することを目指す

日ごろの感謝を込めて 音楽イベントなどを開催

楽器の販売や音楽教室を運営するエルム楽器では、手稲区にある本社を中心に年間数回の感謝祭や音楽イベントを開催。こうした催しは本社のみならず札幌市内や千歳、室蘭、釧路などの各店舗において様々な形で行われています。

これらの取組について、同社代表取締役社長の寺田良紀さんは「日ごろから来店してくれるお客様、音楽教室に通っている生徒のみなさんなど、当社と様々な形でかかわりのある人たちや地域に対して感謝の気持ちを示したかった」と説明します。

感謝や地域還元を理念とする取組はさらに「札幌楽器博物館」の開設につながりました。平成19年に本社店舗内に設置された博物館では、普段目にすることの少ない素晴らしい楽器を展示し、無料で開放しています。

音楽を通じて 情緒豊かな人を育てる

感謝の気持ちを形にする様々な取組によって、音楽や芸術文化を発展させていこうというのが同社の狙い。こうした活動は音楽を通じて「人々」を育てることへとつながっていきます。

「演奏する人も聴く人も、子どもから大人までもがその楽しさや素晴らしいさを共有できる音楽で、豊かな心を育んでもらいたい」と寺田社長は話します。

同社では様々なイベントの開催を通して地域の人々とふれあい、地域とともに発展することで、「何かあったらエルムへ」と頼られる存在になることを目指しています。

成功の秘訣

感謝の気持ちと
地域に
密着した活動

● 本業を活かす

各種教室開催

無料演奏会

寄付付自販機

就労体験

自動車中古部品販売

石上車輛株式会社

豊平区月寒東

環境保全 ■社員参加

「自動車リサイクルの森」
廃車1台で1本の木を植樹
 一般ユーザーから引き取った廃車1台につき、カラマツ1本を美幌町に植林し20年間管理する「自動車リサイクルの森プロジェクト」を平成20年に始動。「リサイクルを通じて地球環境に貢献」というコーポレートスローガンの下、長期的な視点に立った活動に取り組んでいます。

これまで約9千本のカラマツを植樹



音楽教室運営

ハート音楽院株式会社

中央区大通西2

文化芸術 ■社員参加 ■技術提供

生の音楽にふれる機会を20年以上継続する演奏会
 福祉施設や幼児教育機関からの依頼を受け、出張演奏会を行っています。演奏会は学院の講師陣によるピアノやギターなど様々な楽器のアンサンブル。授業の合間を縫っての日程調整は大変ですが、「生の音や楽器にふられるいい機会とすれば」という一心で続けています。

奏者も楽しんでるのが長続きの秘訣



職業訓練校

株式会社 北海道ビジネスアカデミー専門学院

北区北7西4

その他 ■機会創出

自前の野菜販売店を立ち上げより効果的な職場実習の場
 関係各省市・団体の就職支援や人材育成関連事業の職場実習のために自前の野菜販売店「サニータイム」を立ち上げました。通常は他企業に受け入れてもらう実習について、同学院のこれまでのノウハウを活かし、目の届く直営販売店での効果的、実践的な訓練を行う試みです。

店では運営全般にかかわる経験を積む



証券業

上光証券株式会社

中央区北1西3

その他 ■機会創出

資産運用のコツ教えます 無料の出席セミナー開催
 資産運用を学びたい、始めたいという道民のニーズに応え、無料の出席セミナーを開催しています。講師は社員や社外専門家が担当。オリジナルのテキストを作り、規模や内容に応じて年100回程度実施しており、支店のない遠方エリアへの「出前」も積極的に行っています。

主婦の勉強会から大規模なものまで行う



コーヒー豆販売、喫茶店経営

ロイズコーヒーユニオン株式会社

中央区南21西10

教育 ■社員参加 ■技術提供

小中学生を店舗に招き職業体験学習を実施
 近所の小中学校からの要望で、店舗にて生徒の職業体験学習を実施しています。小学校低学年は質疑応答、同高学年、中学生はスタッフながらに接客やコーヒーを淹れる作業などの日常業務を手伝います。担当者は「働くことの喜びや面白さなどを感じてもらえれば」と語ります。

おいしいコーヒーの淹れ方にチャレンジ



清涼飲料販売

北海道キリンビバレッジ株式会社

中央区北11西19

その他 ■資金提供 ■物品提供

自動販売機を通してピンクリボン活動を応援
 乳ガンの早期発見、診断、治療の大切さを啓発するピンクリボン活動を応援しています。ピンクリボン自動販売機を設置するほか、イベントにも協力。この自動販売機の売上は販売店と同社で各1%ずつ、日本対がん協会ほほえみ基金に寄付されています。

市内に設置したピンクリボン自動販売機



靴小売

株式会社 アルファ美輝

中央区南1西7

その他 ■その他

**病院では教えてくれない
足にまつわる健康相談会**

「足や靴の悩みを抱えている人たちのかけこみ寺になれば」。健康靴を販売するアルファ美輝は、そんな思いを胸に、足の健康相談会を随時無料で行っています。スタッフ全員がシューフィッターの有資格者。病院では教えてくれない足や靴にまつわる知識を提供しています。

正しい靴の選び方や歩き方をレクチャー



建設コンサルタント

株式会社 エコテック

中央区北3西2

教育 ■技術提供

**川を知り、親しみ、学ぶ
子どもの環境学習を支援**

NPO法人水環境北海道が平成9年から主催する「千歳川かわ塾」。同社の妹尾優二取締役会長が塾長を務め、子どもたちに命の尊さや自然との共生などを学ばせています。「活動の基本は教育。知識よりも知恵を、また、困難にめげない精神的な強さを育てたい」と妹尾会長。

たも網を手に、川の生き物を調査中



広告代理店

株式会社 創文

中央区北3西2

スポーツ ■機会創出 ■技術提供

**北海道野球協議会の活動を
企画広報面で全面的に応援**

子どもたちが安心して野球に打ち込める環境づくりをと、NPO法人北海道野球協議会が設立した「北海道ベースボール子ども夢基金」を応援。寄付金を集める様々な企画を考え、実施しています。「次代を担う青少年の育成に少しでも貢献できれば」と木村明宏代表取締役。

各種グッズや印刷物の制作も同社が担当



自動車学校

株式会社 藻南自動車学校

南区川沿

地域安全 ■物品提供 ■技術提供

**高齢者の交通安全を目的に
ドライバークラブを設立**

町内会や札幌方面南警察署と連携し、高齢者に安全運転・交通安全を呼びかける組織として、平成21年9月「もなみシルバードライバークラブ」を設立。会員登録している地域の高齢者に向け、電動車いすの安全講習会や交通事故現場見学など、独自の企画を実施しています。

電動車いす講習会では実車の体験運転も



金融業

北海道労働金庫

中央区北1西5

その他 ■資金提供

**福祉、市民活動を後押し
独自の社会貢献助成制度**

創立50周年を迎えた平成13年度に「北海道ろうきん社会貢献助成制度」を創設。市民活動に取り組むNPOやボランティア団体に助成を続けています。助成先は年度ごとに募集をかけ、会議によって選定。平成22年度は42団体に計805万円の助成を行いました。

助成先のうち3団体を招き行った贈呈式



人材派遣、音楽教室運営

株式会社 ブライトサッポロ

中央区南1東2

文化芸術 ■人材活用

**イベント会場で
無料、ゴスペルライブ**

各方面からのボランティア出演要請に応えて、ブライトサッポロ音楽スクールの講師と生徒が、様々なイベント会場の講師と生徒が、様々なイベント会場、介護老人保健施設、病院などで無料ライブを行っています。演目はゴスペルが中心。ボランティアに参加できる歌い手は100人以上登録されています。

毎年盛り上がりを見せる雪まつりライブ





まちと人に、笑顔と元気と感動を 事業型社会貢献で機動力アップ 生音楽出前公演「NPO法人きたおん」

涙
笑い
感動
のある人生を!

「生音楽の出前公演」という独自の社会貢献活動を目的に平成21年、「NPO法人きたおん」を設立したGICコンサルティング。社会貢献を事業として確立させた1歩先を行くスタイルです。企業や行政と連携した活動形態で、地域の活性化にも取り組んでいます。同法人の理事長兼同社代表取締役の佐々木清さんに話を聞きました。

—「生音楽の出前公演」を始め、たきつけを教えてください。

佐々木（敬称略） 当社は企業のリスクマネジメントコンサルティングを30年以上続けています。そのなかで感じたのが、会社の危機管理の前に、経営者や従業員の心や体の健康を整えるのが必要だということ。心身の両面で不調を抱えている人がとても多い。

そこで健康管理に関しては青汁を作って販売したのですが、心には生の音楽が最適と考えました。生の音楽にはCDでは聴き取れない脳を刺激する周波があり、それが感情を刺激するの

で、疲弊してしらけてしまった心に潤いを与えるんです。

また、地方では音楽公演がほとんど行われないため、一生に一度も生の音楽を聴かずに終わる人もいます。そこで出前公演をしようと考えました。テーマは「涙」「笑」「感動」。心を開放する縁となれば、という思いを込めています。

—なぜ、NPO法人にしたのですか？

佐々木 ひとつの事業として社会貢献に取り組むことで使命が生まれ、継続的な事業展開が可能になるからです。また資金、人材面での機動力も増します。

株式会社
GICコンサルティング
中央区宮の森

私たちはこの事業を成功させるために、「行政の協力」「企業の協賛」「まちの再生・活性化に貢献」「地域アーティストの活躍の場を創る」という4つの経営理論に基づいて推進しています。行政に協力を仰ぎ、地域の商店街などから協賛していただくことで、まちも活性化されるのです。

—現在、27社が協賛企業として参画していますね。

佐々木 各代表が理事を務め、寄付やボランティアスタッフとして運営にかかわっています。活動資金は会費や事業・受託収入など。補助金や助成金などといった一時的なものには依存しません。ちなみに、協賛を募るポイントには熱意です。

—「出前公演」はすでに14回行っています（平成22年9月現在）。依頼はどういったところからくるのですか？

佐々木 地域の高齢者の集いや祭り、市町村の周年事業など、イベントのアトラクションとして呼ばれることが多いです。北

佐々木さんが考える NPO法人成功の秘訣

NPOは資金力がないと成功しませんので、財政面で自立する必要があります。ですから、利益分配はNGですが、運営費としての利益は出さないとダメ。そもそも事業というのは利益を出すのが当然なのです。そのために経営理論を設け、論証、実証、例証を重ねて、信用と信頼を築いていっています。

海道だけでなく東京からの依頼も受けています。

—公演当日の運営スタッフは社員だそうですね。

佐々木 公演日がたとえ週末でも社員は全員出勤です。20世紀まではアメとムチの時代でしたが、これからは個人自らがモチベーションを湧き起こさないとダメな時代。社員には、活動に喜びを見出し、それをモチベーションとすることを教えてください。



同社社室にあるスタジオでは笑む佐々木さん。スタジオはアーティストの練習やオーディションの場として使われるほか、地域のカルチャー・スクールへの貸出もしている。



札幌西区オーケストラに依頼し、実現したコンサート



「映画上映や寺子屋も好評だった」と話す蒲生代表

テニススクール運営

株式会社
エス・イー・ティー

清田区平岡公園

文化・芸術 ■社員参加 ■物品提供

コートを使ってテニス以外で 使ってもらおうという試み 自主イベントも多数開催

テニスコートを地域開放 スタッフ教育にも利点

テニススクール「ウイング」を運営しているエス・イー・ティーでは、テニスコートを地域に開放し、テニス以外のことに使ってもらおう試みを続けています。用途はカルチャー教室やよさこいチームの練習など、利用者によって様々。コートの床がクッション性に富み軟らかいことから、直に座って聴くクラシックコンサートを開くなど、利点を活かした同社主催のイベントも積極的に行っています。

「場所に困っている人は意外に多い。公共施設だと制限があつてできないこともここでならできる可能性はある。テニスをしない人にもどんどん使ってもらいたい」と蒲生清代表取締役。自由な発想でコートの利用価値を生んでいます。

また、こうした取組はスタッフの教育にも役に立つそう。

「事業計画を立てたりとテニス以外の仕事ができるので、能力開発になる」と語ります。

避難場所としての認知を 広めるための活動

実はこうした活動を続ける根底にはテニスコートを避難場所として認知してもらいたいという蒲生代表の願いがあります。

「トイレもシャワーも完備しているの、海外では普通にある話。日本でも阪神大震災以降、そういう例がある。だからまずはここにテニスコートがあることを知ってもらい、ゆくゆくは正式な認可を得て、水や食糧、ストープなどの備蓄をしたい」と考えています。

成功の秘訣

固定概念に
捕らわれない
柔軟な発想



DOINGではサークル活動も盛ん。カミネッコン作りでは古紙提供も

社屋を新築した際、2階に多目的室「DOING」を造り、地域への無料開放を始め、地道ながさわ。それまでの地域にはなかった文化教室や集まりなどに使ってもらおうと考えてのことです。

新聞販売所

有限会社 道新ながさわ

清田区平岡

文化芸術 ■物品提供

文化教室や集会に使ってほしいと2階ホール「DOING」を無料開放

このほか、車椅子も無料で貸し出しており、近郊の人には「お届け&回収」サービスも実施。次第に利用者が増えてきているといえます。

葛西和光専務取締役は「これからも、地域の役に立つことなら何でもやってみたい」と意欲的に話します。



専務取締役の葛西さん。「DOING」のある社屋の前で

教室募集などの告知は特にしませんでしたが、口コミで広がり、現在、押し花やウクレレ、ヨガ、子ども向けのダンスなど、毎日多種多様な教室が開催されています。会場利用料を徴収しないことで、どの教室も受講料が安く済んでいるそうです。

土木、舗装、とび・土工、造園

株式会社 日栄建設

厚別区厚別西

環境保全 ■その他



鉄骨にネットを張った立派なごみ箱。社員で手作りし、無償で提供

冬は雪で隠れてしまうごみステーション。不便を感じるのはもちろんですが、除雪の作業もしづらいことから、「しっかりとごみ箱があった方がいい」と下谷内尊則代表は考えたといえます。町内

使いやすいうえ、見た目もすっきり 廃材を用いた手作りのごみ箱

このほか、毎年春には、近郊の同業者と連携し、大規模なボランティア清掃も行っています。

「使いやすさ」「見目がきれい」といった感謝の言葉がモチベーションになっていくそうです。



「住宅街にある会社なので地域への感謝の思いは深い」と下谷内代表

会に話を通し、手作りのごみ箱を提供することを決意。地域への恩返しへの気持ちも込めて、平成16年から毎年2〜3基ずつ製作、設置しています。

ごみ箱の材料には工事現場で不用になった鉄骨などの廃材を利用。制作には溶接が必要なため手間も時間もかかりますが、地域の人から寄せられる「使いやすい」「見目がきれい」といった感謝の言葉がモチベーションになっていくそうです。



現場周辺での地域貢献活動では、苗穂児童会館で自然工作教室を開催



北海道の恵みを感じる新しい製品デザインを募集。36作品が寄せられた

平成15年度に「グリーンアクション」宣言を行い、本社と営業所において環境活動を継続的に実施。内容は植樹や清掃、子ども向けの環境教育、工事現場周辺地域の環境マップ作成など盛りだくさんです。

部門のキーマンや社員がアイデアを出し 他主体との連携も含めた環境活動を実施

同社の「環境キーマン」である高橋秀夫品質環境室長が考えるのは、「先駆的で、道内経済が潤うような取組」。自ら環境市民団体に所属し、その活動やNPOなどとのつながりが取組のアイデアソースになっています。

現場事務所ではベレットストーブを利用するほか、消費電力の一部を対象にNPO法人北海道グリーンファンドからグリーン電力証書を購入。自然エネルギーを利用して作られたグリーン電力を活用し（平成21年度実績…9千kW h）、地球温暖化対策に取り組んでいます。



同社と町内会で管理するコミュニティガーデンの雑草取りをする社員

北海道洞爺湖サミットの開催をきっかけに、「企業としてできることはないだろうか」と考えたところからプロジェクトがスタート。平成19年「北海道カムイミントラブランドデザインコンクール」

造形コンサルティング

株式会社 ウェザーコック

豊平区月寒西

文化芸術 ■機会創出

地域産業活性化にデザインの力を活かす 企業が連携・協力しコンクールを開催

製品化を実現しました。山本真裕代表と山本一枝専務は「企業の連携で経済の活性化につながる仕組みを育て、また、デザイナーが道内でも希望をもって活動できるレールを敷けたら」と話します。

事務局を設立しました。メンバーは、同社の呼びかけに賛同した市内のデザイナーやIT関連、製作、販売の9社です。北海道の若いデザイナーの道内定着、良質なデザイン製品の創出と販売体制の構築を旨とし、翌年第1回のコンクールを開催。「森と暮らす」をテーマに製品デザインを募集し、優秀賞選出作品の製品化を実現しました。



山本真裕代表（右）と山本一枝専務。産学官連携活動にも取り組んでいる

